

主義、制度、意識、行動における官と民の比較(例)

		官	民
ポリシー・主義		社会主義 ～認められた予算の中で最大の効用を図る	資本主義 ～より良いものをより安く提供する
制 度	会計	単式簿記、予算重視、現金主義	複式簿記、決算重視、発生主義
	処遇	努力をしなくても 将来時点の給与が如実に分かる	努力をしなければ 将来時点の給与・処遇が悪化する
	監査	議会の承認、市民の監視	市民(消費者)の監視、市場の信任
	倒産	淘汰されない	競争に負ければ社会から淘汰される
意 識	コスト意識	予算の消化を優先する傾向にある	予算を残すほど評価される
	パラダイム	前例を重んじ新しいことに過敏になる	オンリーワンを目指し果敢に挑戦する
	リスクテイク	出来る限りリスクを摘み取る	リスクを取りつつ前進する
	サービス感覚	市民のニーズに応えるうえで 庁内の規定や慣例を意識してしまう	顧客満足の最大化が至上命題
行 動	組織の目標	予算・要員・権限の確保を目指す	利益の最大化・ROEの向上を目指す
	収入	徴税努力は税務当局にゆだね、 それ以外の部局は予算を所与として 事業推進に注力する	全社を挙げて収入の最大化に励む
	活動領域	自らの行政単位を専らとする	グローバルに展開する (国境・県境は関係ない)
	効率性	効率性を問われる機会が少ない	常に効率性の向上が要求される
	組合	法規制に則り権利を主張	会社の発展を目指し、労使一体と なったなかで、諸条件の改善を図る
それぞれのシステム を運営していった 結果の姿		組織の自己増殖・肥大化	資源配分の最適化

＜ 官僚制の逆機能 ＞

- ①規則や手続きの遵守が優先され、それが何のためにつくりだされたかが忘れられてしまう
- ②予測のたたない事態が回避され、臨機応変な対応ができない
- ③組織全体よりも、自分自身の所属する部門の利益が優先されてしまう
- ④規則の客観的な適用が重視され、人間的な配慮が忘れられてしまう
- ⑤組織の力と自分の力とが混同され、外部に対して威圧的に行動する
- ⑥自分自身の責任を回避するために、例外的な事態に対しては、必ず上司の指示を仰ごうとし、対応に時間がかかる
- ⑦自分自身の担当外の仕事に関心を示そうとしない

(R. K. マートン「社会理論と社会構造」みすず書房 より)